

記者発表(発表・資料配付)				
月/日(曜日)	事務所等名	電話	発表者(担当者)	配付先
12月15日(月) 10:00	兵庫県芸術文化協会 文化振興部 事業第1課	078-321-2002 内線6556	文化振興部長 鷺森 正人 (事業第1課長 北田 優美子)	県政記者クラブ

令和7年度「亀高文子記念—赤艸社賞」受賞者の決定について

兵庫県芸術文化協会では、第一線で活躍する女性洋画家を顕彰する「亀高文子記念—赤艸社賞」を贈呈しています。今年度は、下記の1名に贈呈します。

記

1 受賞者

氏名 (年齢)	谷原 菜摘子 (36歳)
分野	画家
住所	芦屋市
プロフィール	<p>芦屋市出身。京都市立芸術大学美術研究科博士(後期)課程美術専攻(絵画)修了。人間の根源に潜む「闇」と誠実に向き合い、黒や赤のベルベットに異素材を重ねた絵画で、視覚・聴覚・触覚に訴える空間を創出する。制作過程の音や筆致の強度は、記憶の層を掘り起こすような身体的体験を伴う。芦屋の地域に根ざしつつ、普遍的な主題に挑んでいる。</p> <p>【主な受賞歴】</p> <p>2015年 第7回絹谷幸二賞 2016年 VOCA奨励賞 2017年 五島記念文化賞美術新人賞 2021年 第39回京都府文化賞奨励賞 2022年 令和3年度咲くやこの花賞 美術部門[現代美術] 2025年 兵庫県芸術奨励賞</p> <p>【主な活動歴】</p> <p>2022年 「リ・フレッシャーズー新収蔵品紹介展」(兵庫県立美術館) 「わたしたちの絵 時代の自画像」(平塚市美術館) 2023年 個展「ARK02023 谷原菜摘子」(大原美術館) 個展「谷原菜摘子の北加賀谷奇譚」(クリエイティブセンター大阪、千鳥文化) 2024年 「わたしのいる場所—コレクションから「女性」特集!」(兵庫県立美術館) 個展「どこかでラッパが鳴っている」(上野の森美術館ギャラリー) 「コレクション1 彼女の肖像」国立国際美術館 2024-2025 中之島文楽のメインビジュアルと舞台美術を担当他</p>
決定理由	自身の記憶や人間の闇を絵筆に託し、内なる精神を具体化しているその作品は、不穏な空気を纏い、鑑賞者に不思議な想像力を誘う。谷原菜摘子さんは、今後の更なる創作展開が期待できる美術家の一人である。

(※年齢は、記者発表日現在)

2 贈呈式

日時 令和8年1月20日(火)14時から
場所 原田の森ギャラリー 401号室

3 表彰の内容

賞状及び副賞20万円を贈呈